

活動報告1

書写障害者デイサービスセンター 活動プログラム紹介

書写障害者デイサービスセンターでは毎日、午前と午後の1時間、様々な活動プログラムを行っています。今回はその一部をご紹介します。

【ドキドキ】

書写デイの利用者に合わせたルールで、みんなが楽しめるゲームやレクリエーションを行っています。ボウリングや書写デイ版ボッチャ、オリンピックが近づくと「書写リンピック」とオリンピックにちなんだゲームやサッカーワールドカップの時期にはPK対決など、その時の旬の話題に沿ったゲームもしています。また、利用者の方と一緒にプログラムの考案をすることもあり、ゲーム進行やタイムキーパーなど役割を持って参加されている方もおられます。



スイカ割り

【創作】



利用者のみなさんが創作活動を通じて自己表現の機会を持ち、達成感や楽しみを感じながら生活の質の向上を図ることを目的に取り組んでいます。完成した作品は、書写デイ作品展や姫路市主催で市内の事業所と合同で実施している「ひめじよっといで文化祭」にも出展しています。昨年度は、「おかしのまち」をテーマに紙粘土でそれぞれ好きなお菓子を作りました。

紙粘土の感触が好きな方にはこねる工程を中心に、色を塗るのが好きな方は筆を使って色塗りなど個々の得意なことを活かして作品作りをしています。また、事業所の廊下の掲示板に創作物を掲示しており、その作品作りも毎月行って季節に応じた壁面づくりをしています。

【スヌーズレン&りらく】

リラックスしながら心地よいことを共感することを目的としたプログラムです。部屋を暗くしてきれいな光をみたり、アロママッサージをしたり、ホットタオルで顔や腕を温めて緊張を緩めるなど、視覚や聴覚、嗅覚、触覚などを刺激しながらリラックスします。



【育いく】



畑で野菜の苗植えや収穫、花壇の花植え、水やり、草引きなどをします。どんな花や野菜を植えたいか話し合っって近くのホームセンターまで買いに行きます。収穫した野菜は給食で美味しい料理で提供したり、自宅に持って帰ったりします。土の感触や花や野菜の匂いなどを感じながら、成長の様子を楽しみにしている方もおられます。

今回ご紹介したプログラムはほんの一部で、他にも外出プログラムや音をモチーフとした「音遊び」、からだのことについて考える「のびのび」、地域のボランティアを招いて得意なことを披露してもらう「楽楽（がくがく）」など、様々なレクリエーションを実施して毎日楽しんでいきます。Instagramで日々の様子を発信していますので、ご興味を持たれた方はぜひチェックしてください！

活動報告 2

🌱 看護師ミニ講義の取り組み 🌱

広畑障害者デイサービスセンター 看護師 西本 弥生
書写障害者デイサービスセンター 看護師 安藤 希
障害者支援センター 看護師 玉谷 拓洋

障害者施設における利用者の健康管理上の課題として、障害のある方は身体的な不調を自覚しにくいことや、感覚に鋭敏な場面があること、また、痛みに対してわかりづらいという特性から、症状を周囲に適切に伝えることが困難な場合が多いと感じています。そのため、病状がかなり進行した段階で初めて疾病が発見されるケースが少なくありません。

早期発見・早期対応の観点からも日常的にかかわりを持つ職員の健康観察をする視点とアセスメント力の重要性を改めて認識しています。私たち職員は利用者と長い時間を共に過ごす存在であり、日々のかかわりの中でその方の「いつも」を知っておく事がとても大切です。そして、「いつもと違う」に気が付いてほしいと思います。しかし、身体症状の変化を的確に把握し、医療的な視点からアセスメントを行うためには一定の知識と、観察技術が必要となります。そこで、職員一人ひとりが健康観察の重要性を知るところから始めることを目的として、ミニ講義を開催する運びになりました。日常的に気をつけるべき身体の症状のサインや、異変に気が付いたときの対応をメインテーマに設定し、血圧・脈拍・体温・呼吸・てんかん・けがとうちみの内容で、昨年度は年間6回の講座を行いました。オンラインによる15分程度の時間配分とし、内容をしぼってポイントを押さえ、看護師3人で持ち回りながら行いました。準備を進める中で、知ってほしい内容だけでなく、どう伝えればわかりやすいか、職員自身の体に置き換えて考えられる内容はないか、実践を盛りこめないか、それぞれが工夫をしながら講義内容を作成しました。

私たち看護師は、医療の進歩や現場のニーズの変化に対応するため、常に知識のアップデートが求められています。この視点は、年齢や経験を重ねても学び続ける姿勢の重要性を実感し、共有する機会になります。今回の取り組みが、医療面だけでなく、支援の現場においても年齢や経験に関係なく、学び続けることの大切さを感じてもらう機会にもつながればと思っています。

今年度は3回のミニ講義を予定しています。アンケートを通して、テーマ、内容、時間配分などを評価し、その結果を講義に反映しながら、知る機会、学ぶ機会を提供していきたいと思っています。



ルネス花北成人部事業所一覧

姫路市立 障害者支援センター（多機能型） 〒670-0804 姫路市保城 309 番地 1 TEL 079-282-2384 FAX 079-224-6751	
就労移行支援	就職訓練班
自立訓練	自立訓練班
就労継続支援B型	喫茶班「café ぴあのぴあ〜の」「café あっと・ゆ〜る」「ふれあい」 製菓班「クッキー工房 檜の詩」・洗車班・作業第一班
生活介護	軽作業班・個別作業班・活動班

姫路市立 かしのきの里（多機能型） 〒671-2246 姫路市打越 1352 番地 6 TEL 079-267-0202 FAX 079-267-0445	
就労移行支援 就労定着支援	就労移行班
就労継続支援B型	クリーン作業・陶芸班

生活介護	姫路市立 書写障害者デイサービスセンター 〒671-2203 姫路市書写台二丁目 7 番地 1 TEL 079-267-2636 FAX 079-267-2794
------	--

生活介護	姫路市立 広畑障害者デイサービスセンター 〒671-1116 姫路市広畑区正門通三丁目 2 番地 2 TEL 079-239-1888 FAX 079-239-1898
------	---

地域活動支援センターⅡ型	姫路市立 在宅障害者デイ・サービスルーム 〒670-0804 姫路市保城 309 番地 1 TEL 079-282-2384 FAX 079-224-6751
--------------	--

障害児・者一時保護施設	姫路市立 障害者やすらぎルーム 〒670-0806 姫路市増位新町二丁目 37 番地 TEL 090-2598-9237 FAX 079-224-3173
-------------	--

体育施設	姫路市立 障害者体育館 〒670-0806 姫路市増位新町二丁目 37 番地 TEL 079-288-7122 FAX 079-224-3173
------	---

就労継続支援A型	あぼしりサイクル事業所 〒671-1236 姫路市網干区網干浜 4 番地 1 エコパークあぼし内 TEL 079-273-8889 FAX 079-273-8870
----------	---

相談支援事業所	ぱっそ・あ・ぱっそ 〒670-0955 姫路市安田三丁目 1 番地 姫路市総合福祉会館 2 階 TEL 079-240-6702 FAX 079-240-6705
---------	--